

## 自 己 評 価 表

愛媛県立丹原高等学校  
学校番号(13)

教育方針	人権を尊重し、個性と能力を伸ばす教育活動を展開する中で「生きる力」を育て、知・徳・体の調和のとれた個性豊かな人材の育成に努める。	重点目標	生徒一人一人の豊かな学びの実現 ～よりよい進路選択と自己実現のために～
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教科指導	教科指導の充実	「ICTや主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業」のAB評価100%を目指す。 〔授業:AB評価〕 A:90%以上、B:89～80%、C:79～70%、 D:69～60%、E:60%未満	B	〔学校評価アンケートにおけるICTを活用した授業:AB評価〕 生徒89%、保護者83%、教職員97% 〔学校評価アンケートにおける授業のわかりやすさ:AB評価〕 生徒88%、保護者70%、教職員100%  ICTの活用については全校で浸透してきている。授業のわかりやすさについて、保護者の評価がそこまで高くない。	ICTを活用できる生徒、教員ともに増えており、今後でも有効活用したい。また、その活用が学力の向上につながるよう努めたい。
	教職員の資質・授業力の向上	校内研修会を5回以上計画的に実施する。観点別評価による指導と評価の一体化が実現するよう授業改善に努める。 〔校内研修会実施回数〕 A:5回以上、B:4回、C:3回、D:2回、 E:2回未満	A	〔校内研修会実施回数〕22回実施 人権・同和教育延べ12回 各教科4回(地公,数,農) その他6回  人権・同和教育の研究指定校を終え、さらに充実したホームルーム活動及び、新課程の目標に準じた教科等の研修を行うことができた。	学校行事等のため、教科における授業反省会がTeams上での意見交換となった場合もあった。研修における振り返りの充実を図りたい。
	読書活動・資格検定の充実	朝読書を充実させ、読書活動の充実を図る。商業・英語・数学・農業検定等の合格者200名以上、2級以上の合格者の増加を目指す。 〔読書活動:AB評価〕 A:90%以上、B:89～80%、C:79～70%、 D:69～60%、E:60%未満 〔検定合格者延べ人数〕 A:200名以上、B:199～180名、 C:179～160名、D:159～140名、 E:140名未満	A	〔学校評価アンケートにおける読書活動:AB評価〕 生徒95%、保護者75%、教職員100% 〔検定合格者延べ人数〕 250名  学期ごとに読書週間を2週間程度設定し、実施した。読書活動については生徒と教職員の評価が上昇し、保護者の評価は下がった。また、学級文庫の創設や図書館の本の整備を通して、充実した読書活動が実施できた。資格検定では普通科と園芸科学科において積極的に取り組み、目標値を大きく上回ることができた。各科とも授業と関連させ指導をし、積極的に受検を勧め成果を上げた。	今年度の具体的目標は達成できているが、保護者への読書活動に関するアピールが足りないようである。改善に努めたい。
進路指導	キャリア教育の充実	キャリアパスポートの活用を図る。進路講演会や大学見学ツアー、企業見学、農家実習を充実させ、体験型のキャリア教育を推進する。 〔キャリア教育:AB評価〕 A:90%以上、B:89～80%、C:79～70%、 D:69～60%、E:60%未満	D	〔学校評価アンケートにおけるキャリア教育:AB評価〕 生徒64%、保護者69%、教職員68%  進路ガイダンスや農家実習等を通して、望ましい職業観を育成できた。1年生のキャリアパスポートの配布が遅れ、十分活用できなかった。	進路ガイダンスを、より「体験」を重視した内容へと改める。担任と連携し、キャリアパスポートを活用した学習の「振り返り」を充実させる。参加希望者が減少している大学見学ツアーは廃止する。

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。

進路指導	情報提供と進路実現	<p>進路関係図書を整備し、情報提供に努める。個別指導を充実させ、国公立大学15名・松山大学15名合格、進路決定率100%を目指す。</p> <p>〔進路情報提供:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満 〔国公立大学合格者数〕 A:15名以上、B:14~13名、C:12~11名、D:10~9名、E:9名未満 〔松山大学合格者数〕 A:15名以上、B:14~13名、C:12~11名、D:10~9名、E:9名未満 〔進路決定率〕 A:99%以上、B:98~96%、C:95~93%、D:92~90%、E:90%未満</p>	<p>B</p> <p>〔学校評価アンケートにおける進路情報提供:AB評価〕 生徒88%、保護者75%、教職員97% 〔国公立大学合格者数〕 23名 〔松山大学合格者数〕 28名 〔進路決定率〕 100%</p> <p>就職・進学用の進路関係図書を拡充させ、生徒の積極的利用を促した。</p>	<p>引き続き進路関係図書の整備に努めるとともに、生徒・保護者へ向けた情報発信にも力を入れていきたい。特に就職関連の情報については、生徒・保護者が自身の端末から求人票等を検索できる新サービス「就サポ」を導入する予定である。今年度と同様に、国公立大学15名・松山大学15名合格、進路決定率100%を目標としていきたい。</p>
生徒指導	生徒の健全育成	<p>欠席率2.0%以内、1か年皆勤率50%以上を目指す。校則が時代に合ったものになるよう適宜検討する。挨拶ができる生徒100%を目指す。</p> <p>〔欠席率〕 A:2.0%以内、B:2.1~2.2%、C:2.3~2.4%、D:2.5~2.6%、E:2.7%以上 〔皆勤率〕 A:50%以上、B:49~40%、C:39~30%、D:29~20%、E:20%未満 〔公平な指導:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満 〔挨拶:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満</p>	<p>D</p> <p>〔欠席率〕3.2%（2学期末現在） 〔皆勤率〕34.2%（2学期末現在） 〔学校評価アンケートにおける公平な指導:AB評価〕 生徒83%、保護者76%、教職員91% 〔学校評価アンケートにおける挨拶:AB評価〕 生徒91%、保護者84%、教職員100%</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、欠席率が増えた。アフターコロナの影響が強く、学校を安易に休むことに対する抵抗感が低下したと感じる。また、クラス内や学校内での欠席が欠席を呼ぶ負のスパイラルが始まるとなかなか歯止めが利かないのが現状である。身だしなみ指導における公平な指導の評価は、保護者の結果は減少しているが、生徒の結果は増加している。生徒自身が納得ができる指導ができています。挨拶については、大半の生徒が自主的に気持ちのよい挨拶ができていますと実感している。</p>	<p>安易に学校を休む生徒に対して個別に指導していきたい。クラス内や学校内での欠席が欠席を呼ぶ負のスパイラルについて対策を施していきたい。長期欠席について、悩みを抱える生徒に早期に気付けるよう、更に教職員間での情報共有を深めたい。校則検討委員会を年に1回以上開催し、時代に合った校則になるよう適宜検討していきたい。また、身だしなみに指導についても公平な指導の実施を継続したい。挨拶については、生徒自らが自主的に気持ちのよい挨拶ができるようにしたい。</p>
	交通安全指導の充実	<p>年7回の交通指導、年3回の合同登校指導を行い、生徒の交通安全意識の高揚を図る。交通事故・交通違反ゼロを目指す。</p> <p>〔交通指導・登校指導回数〕 A:10回以上、B:8回、C:6回、D:4回、E:4回未満 〔交通事故・交通違反件数〕 A:0件、B:1件、C:2件、D:3~4件、E:5件以上 〔交通安全遵守:生徒AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満</p>	<p>B</p> <p>〔交通指導・登校指導回数〕 11回 〔交通事故・交通違反件数〕 3件 〔交通安全遵守:生徒AB評価〕 生徒96%、保護者91%、教職員100%</p> <p>交通指導、登校指導、交通安全講話を計画的に実施しており、生徒の交通安全やヘルメット着用に関する意識は高い。なお、今年度はスタントマンによる交通安全教室を2学期に実施した。1学期に登下校中の事故が3件発生した。3件ともヘルメットを着用しており大きな事故にはならなかった。</p>	<p>引き続き交通指導・登校指導を継続し、交通安全講話を年1回実施していくことにより、交通安全に関する意識の高揚を図りたい。登下校中の交通事故・交通違反ゼロを目指す。</p>
特別活動	学校行事の活性化	<p>生徒自らが企画・運営する学校行事を実現し、生徒が主役となって活躍する機会を増やすことで「学校行事の充実」のAB評価95%以上を目指す。</p> <p>〔学校行事の充実:生徒AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満</p>	<p>B</p> <p>〔学校評価アンケートにおける学校行事の充実:生徒AB評価〕 生徒88%、保護者89%、教職員100%</p> <p>生徒会を中心に工夫し、運動会や丹高祭、グループマッチ等を盛り上げた。</p>	<p>引き続き生徒自らが企画・運営する学校行事を実現し、生徒が主役となって活躍する機会を増やすことで「学校行事の充実」のAB評価95%以上を目指す。</p>

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

特別活動	部活動・ボランティア活動の活性化	部活動加入率90%以上、県総体60名以上、高文祭15名以上、四国大会以上の出場を目指す。ボランティア活動は寄せ植え講習会200名以上、その他100名以上を目指す。 〔部活動加入率〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満 〔県総体参加者数〕 A:60名以上、B:59~50名、C:49~40名、D:39~30名、E:30名未満 〔高文祭参加者数〕 A:15名以上、B:14~13名、C:12~11名、D:10~9名、E:8名未満 〔ボランティア活動参加者数〕 A:300名以上、B:299~250名、C:249~200名、D:199~150名、E:150名未満	A 〔部活動加入率〕92% 〔県総体参加者数〕72名 〔高文祭参加者数〕23名 〔ボランティア活動参加者数〕626名 寄せ植え講習会382名 丹原七夕夜市 120名 その他 124名  大会の実績は良好だった。 ・四国大会出場者数延べ24名 ソフトテニス部:2名(1ペア) 女子剣道部:個人2名,団体14名 将棋:1名 農業クラブ:5名 ・全国大会出場者数7名 女子剣道部:1名 農業クラブ:6名	引き続き部活動加入率90%以上、県総体60名以上、高文祭15名以上、四国大会以上の出場、ボランティア活動の活性化を目指したい。四国大会以上出場についても、今年度以上の成果を目指したい。
相談・人権	教育相談体制の充実	前年度まで実施した6・9・2月の教育相談アンケートに加え、始業式に長期休業中に関する新アンケートを実施し、きめ細やかに対応する。 〔相談できる:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満	B 〔学校評価アンケートにおける相談できる:AB評価〕 生徒86%、保護者73%、教職員100%  教育相談アンケートを実施し、実態を把握し必要な内容を教職員で共有して対応した。	アンケート、個人面談週間、教職員の情報共有を実施し、きめ細やかな対応をしたい。状況に応じて不登校生徒支援委員会や特別支援教育委員会を開き、一人一人の生徒に応じた支援に努めたい。
学校安全	情報セキュリティ・情報モラルの遵守	県人権・同和教育研究指定校の成果を生かして、本校の人権教育の充実に取り組む。「いじめ対応」のAB評価100%を目指す。 〔人権教育:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満 〔いじめ対応:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満	B 〔学校評価アンケートにおける人権教育:AB評価〕 生徒94%、保護者83%、教職員100% 〔学校評価アンケートにおけるいじめ対応:AB評価〕 生徒88%、保護者69%、教職員100%  教職員・生徒は校外の研修会・講演会等に多数参加し、人権意識の高揚に努めることができたが、保護者の参加が少なかった。	いじめ対応の取組について、保護者の評価が低くなっている。学校の取組をホームページや「丹高だより」などで保護者に周知していきたい。また講演会や公開授業、研修会への積極的参加を促し、人権問題について家庭で話し合うように呼び掛け、保護者啓発を進めたい。
	健康安全・校内美化の推進	教職員及び生徒の端末のアップデートの徹底を図る。1人1台端末の適切な取扱いを徹底する。 〔情報セキュリティ・モラル:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満	A 〔学校評価アンケートにおける情報モラル:AB評価〕 生徒91%、保護者88%、教職員95%  教員端末のアップデートは、県の一括管理となった。生徒端末は、現在アップデートできない状況である。	1年生の「1人1台端末オリエンテーション」を充実させ、端末の適切な取扱いについて指導したい。
		コロナ他感染症対策・熱中症対策を徹底する。年間を通して校内の美化に努めるとともに、デジタルサイネージの一層の活用を図る。 〔感染症等対策:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満 〔校内美化:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満	B 〔学校評価アンケートにおける感染症等対策:AB評価〕 生徒95%、保護者81%、教職員97% 〔学校評価アンケートにおける校内美化:AB評価〕 生徒87%、保護者82%、教職員71%  デジタルサイネージは年間を通じて行事案内やコロナ等注意、生徒作品の展示を行い活用した。	コロナに関しては、2類から5類への変更後も校内での必要な感染症対策を継続しながら、安全・安心な学校を実現したい。年間を通して校内の美化に努めるとともに、デジタルサイネージの活用を継続したい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

学校安全	防災教育の推進	<p>文科科学省の「危機管理マニュアル見直しガイドライン」を参考に、マニュアルを適宜見直し、実践的な避難訓練を行う。</p> <p>〔防災教育:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満</p>	B	<p>〔学校評価アンケートにおける防災教育:AB評価〕 生徒92%、保護者78%、教職員92%</p> <p>teamsを用いて、管理責任者が校内の安全点検等を行った。また、消防職員を迎えて避難訓練を行うことで、防災意識を高めることができた。</p>	火災発生場所を変更したり、不審者対応を行ったりするなど、様々な状況を想定した実践的な避難訓練を行うことで、「自分の身は自分で守る」という意識を向上させたい。
農業教育	地域との交流	<p>苗販売や菊花展等、コロナ対策を行い、一般参加者総計1200名以上を目指す。花育、食育やリヤカー販売など、地域に出掛ける教育活動を推進する。</p> <p>〔農業関係行事来校者数〕 A:1200名以上、B:1199~1100名、C:1099~1000名、D:999~900名、E:900名未満</p> <p>〔保護者や地域との交流:AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、D:69~60%、E:60%未満</p>	B	<p>〔農業関係行事来校者数〕 1252名(苗販売272名、菊花展980名)</p> <p>〔学校評価アンケートにおける保護者や地域との交流:AB評価〕 生徒87%、保護者80%、教職員94%</p> <p>草花部門による多肉植物・花の寄せ植え講習会は18回実施し、参加者は382人であった。野菜部門によるリヤカー販売は2回実施した。地域との交流が深められ、園芸科学科の活動をアピールできた。</p>	苗販売や菊花展、農家実習、花育活動、ワクワクサタデスクール等の諸行事を実施することにより、地域や保護者に丹原高校の魅力を発信したい。
	GAP認証・農業クラブの活性化	<p>グローバルGAP（ブドウ）・県GAP5品目の認証を実現する。台湾での販売研修を検討する。環境制御装置を導入した温室の活用を図る。</p> <p>〔GAP認証〕 A:グローバルGAP+県GAP5品目以上、 B:グローバルGAP+県GAP4品目、 C:グローバルGAP+県GAP3品目未満、 D:県GAPのみ2品目以上、 E:県GAPのみ1品目以下</p>	C	<p>〔GAP認証〕 グローバルGAP取得（ブドウ） 県GAP取得（水稲・イチゴ）</p> <p>グローバルGAP認証を6年目の継続取得し、台湾輸出・台湾研修も実現した。環境制御温室を有効に活用できた。農業クラブプロジェクト発表I類の部で全国大会に出場した。</p>	グローバルGAP認証、県GAP認証を継続しながら、GAP学習を充実させたい。農業クラブ活動では、日頃の学習を探究学習として発展させ、意見発表会校内大会では全クラス、プロジェクト発表会校内大会では全専攻班が発表することで、活動の活性化を図りたい。
業務改善等	ホームページ等の充実	<p>ホームページアクセス数1日550件以上を目指すとともに、マチコミやTeamsを活用し、情報発信を図る。YouTubeの充実を図る。</p> <p>〔ホームページ1日平均アクセス数〕 A:550件以上、B:500~549件、 C:450~499件、D:400~449件、 E:400件未満</p> <p>〔マチコミ加入率〕 A:100%、B:99~90%、C:89~80%、 D:79~70%、E:70%未満</p>	B	<p>〔ホームページアクセス数〕 1日平均529件</p> <p>〔マチコミ加入率〕 99%</p> <p>〔学校評価アンケートにおけるHP・マチコミ・Teams等での情報発信AB評価〕 生徒95%、保護者80%、教職員100%</p> <p>台湾研修の活動報告などYouTubeで公開した。</p>	<p>年末の大量のアクセスのため、1日平均のアクセス数が大きく上がった。数値目標を変更し、平均350件以上のアクセス数を目指し、毎日更新するよう心掛けるなどホームページの更なる充実に努めたい。</p> <p>A:350件以上、B:300~349件、 C:250~299件、D:200~249件、 E:200件未満</p> <p>マチコミは、新入生の保護者に加入を勧め、加入率100%を維持したい。YouTubeの有効な活用をし、情報発信の推進をしたい。</p>
	働き方改革の推進	<p>閉庁日を4日設けるほか、年次休暇等の取得を促し、休みやすい環境を整える。時間外勤務月平均80時間以上の教職員ゼロを目指す。</p> <p>〔時間外勤務80時間以上教職員数〕 A:0名、B:1~3名、C:4~6名、 D:7~10名、E:11名以上</p> <p>〔働き方改革:教職員AB評価〕 A:90%以上、B:89~80%、C:79~70%、 D:69~60%、E:60%未満</p>	E	<p>〔時間外勤務80時間以上教職員数〕 7名(4~1月平均)、2名(1月)</p> <p>〔学校評価アンケートにおける働き方改革AB評価〕 教職員35%</p> <p>〔学校評価アンケートにおける部活動活動時間・休養日AB評価〕 生徒87%、保護者78%、教職員94%</p> <p>講師の確保ができていないことから、特に農業科においては負担を掛けることとなった。</p>	<p>人員の確保、業務の精選及び平準化を図るとともに、時間外勤務が多い教職員と面談を行い、時間外勤務80時間以上の教職員数ゼロを目指したい。</p>

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。